（1）　第９号　平成１９年１月１日（日）発行　発行責任者　蔭山　市郎　（無料配布）

泉州ルネッサンス

泉佐野市政モニター研究会（Izumisano－shisei Monitor Kenkyuukai）

特集 新人議員による座談会

昨年１２月５日、ＩＭＫは前回の泉佐野市市議会議員選挙（昨年５月）で初当選した５人の新人議員を囲んで座談会を行いましたが、その内容をご紹介致します。→２頁

平成十九年

☆新連載コーナー☆
俳句・川柳　～新春～

☆泉佐野公民館俳句会

六十の紅ほんのりと初鏡　ヒサ子

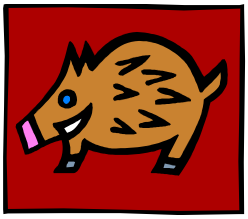
新春の古希を寿ぐ墨の色　喜美子

☆泉佐野市文化協会佐野川柳会

初詣寝床で見る無神論　蛙城

正夢を見たくて宝くじを買う　トシオ

恭賀新禧



泉州ルネッサンスの願い

本年も泉州ルネッサンスを
よろしくお願い申し上げます。

蔭山市郎会長、メンバー一同

明けましておめでとうございます。皆々様のおかげで何とか第９号まで辿りつきました。毎日が試行錯誤の繰り返し、此れは本年も続きそうです。今年は、丁亥、猪は猪突猛進と言われますが、突っ走ることなく、大地をしっかりと踏みしめて明日に向かって邁進して行こうと思っております。　（蔭山　市郎）

Ｘ年後の泉佐野市の未来像が見えています（初夢？）。地域活性化政策が実を結び、人口が急増して一部の校区では教室を増床、学校では樹木が繁茂して緑に包まれ、いじめ問題もなく子供達の笑顔が見えます。　（踊堂　弘道）

私は市政モニター研究会に入って、泉佐野市の文化・市政がよくわかり、市民の暮らしが少しでもＵＰしていくことに繋がりますよう、今年も精一杯頑張って行きたいと考えております。　（宮原　友好）

泉佐野市の人口は、毎年１０％程度の転入・転出があるそうですが、中には仕事の関係で数年間だけ泉佐野市に住まれて、仕事が終わると別の他府県へ転出される方もいらっしゃいます。このような方も、泉佐野市にいる間は、地域の行事又は選挙にも遠慮なく参加して欲しいものです。　（森本　基久）

市政モニターの集まりで、各々が市政及び他の日々の中で思うことや、疑問・不満等を、この泉州ルネッサンスを通して表現している。是非、泉佐野市の沢山の人に意見を言って参加してもらい、自分達の意見の反映をして頂ければと願います。　（み　ら　い）

泉州ルネッサンス発刊より、今日に至りますまで取材等で多くの方々のご協力頂きましたことを感謝し、これからも地域の読者から愛される記事作りに励みたいと思います。　（井上　勇）

＊＊特集　新人議員座談会＊＊

新しい発想に期待！

出席者（５０音順、敬称略）

■高道　一郎
（日本共産党泉佐野市会議員団）

■辻中　隆
（公明党泉佐野市会議員団）

■新田　輝彦
（新進）

■野口　新一
（民主党泉佐野市会議員団）

■向江　英雄
（自治創造ネット）

ＩＭＫ　ご自身のプロフィール、又は最もよく知っている分野を教えて下さい。

辻　中　元は公務員でもなく、経営者でもない、民間の中小企業のサラリーマンとしての、庶民の感覚が私の分野です。得意は教育。６月議会でも小学校のプール問題で質問させてもらいました。

向　江　議員になるまで、アメリカからヨーロッパ、アフリカに至るまで諸外国を周って地方自治事情を見てきたことから、地方自治には詳しいと思っております。特に、ヨーロッパの地方自治は進んでいますから、良い部分を取り入れる価値はありますね。

高　道　私は元泉佐野市の職員だったので行政の問題はよくわかっていますし、これまで重点的に市政の建て直しの為に行われてきた行財政改革の内容もよく知っており、また関心もあります。

野　口　私も泉佐野市の行政ＯＢであり、青少年会館の仕事に携わった経験上、子供の育成・教育支援については専門です。最近の「ニート」現象といわれる若者の在り方はいつも気になります。

新　田　タオル会社を経営していますので、地場産業に密着した経営者の悩みなどもよく理解しています。かつての地場産業であったタオル事業所の衰退は、ピーク時の６分の１にまで減少している現実であり、深刻です。

ＩＭＫ　市議会の公開について、例えば市役所１Ｆのロビーで実況中継をすることは以前行われていたようですし、大阪府は府議会をロビーで流しています。このような試みについてどうお考えですか。

野　口　予算もあることでしょうが、いいことだと思います。

新　田　公開には大賛成です、以前行っていたのならばなおさらです。

高　道　民間のりんくう９ｃｈで市議会の録画放送がありますが、進んでいる市町村では、インターネットで議会映像を配信しているところもあり、こういう試みは行っていくべきでしょう。

向　江　京都市も議会を定期的に流しています。開かれた市議会を市民へアピールすることで、市民の意識を高める効果があると思います。

辻　中　中継されていることで、議員の緊張感が出てきていいのではないか。

ＩＭＫ　会派の意見と自身の意見が食い違っている時は、どのように対処しますか。

野　口　昨年のゴミ袋問題で住民投票の賛否を問われたときは、市側の説明不足もあったため、途中で退席させてもらいました。

新　田　私は一人会派なので、自由に自分の意見が言えて気楽です。

高　道　今のところはそのようなことはありませんでしたけれども、起きた場合は相談します。共産党全体では、道路財源反対なのですが、地元の利益を考えますと、第２阪和延伸は譲れない項目である、といったものもあります。

向　江　一人会派は組織に縛られず、自分の意見を述べられますが、自分の理念が固まるまでは今のスタイルでどの会派にも所属しない積りでいます。

辻　中　公明党は現在、４人の議員がおりますが、昨年選挙で選挙違反事件が起きた時、どうするかで４人の間で意見が分かれましたが、最終的には相相談･協議の中、会派としての統一見解になりました。今後は良い意見は出して参ります。

ＩＭＫ　議員職の特徴や前職とのギャップが感じられること、気づいたことがありますか。

野　口　行政職にも規定は多かったのですが、議会には独特なルールがあって、戸惑うことがあります。

新　田　民間の会社経営者から、政治家になってみて気づいた点は、現在泉佐野市は財政再建途上なのは承知のことですが、行財政改革を推進しているとはいえ、企業だったらとっくに倒産しているほど、一般会計だけでも７５０億円にも上る過大債務のツケを長い間市民へ回してきています。行政は、企業のような思い切ったリストラが難しい

の かも知れませんが、会社経営者の目で見るのと違うなと、つくづく感じます。

高　道　会派の幹事長役に任命されたこともあって、議会のルールの協議に関わってきましたが、前例に倣う傾向があるといった気がしました。

向　江　父親（元泉佐野市長）の仕事を見てきたこともありますが、日本では問題解決へのアプローチとしては、「他の市ではどうである」、「今までの前例はこうだから」という前進的でなくて、止まってしまいがちなところがあります。もっと創造的な意見が出てきて欲しいものです。

辻　中　私は堺市の出身なので、ギャップと言えば、泉佐野市には有名な公園がないのが寂しいです。堺市のハーベストの丘、岸和田市のとんぼ池公園のような親子連れで楽しめる公園があれば、市民も自分の住んでいる市の自慢も出来ていいのですが。

ＩＭＫ　地元を活性化するプランをお持ちですか。

野　口　市民の暮らしの基本は、やはり家庭からだと考えています。親と子、市民同士が暖かさやふれあいで結ばれていることが大事だと思います。

新　田　イジメなど、中学校の生徒問題をもっと家庭が学校や先生にばかり押し付けるのではなく、躾（しつけ）を行うことが、将来の人材を育成していくのには、とても大切なことです。

高　道　一昔前であれば、企業の地元誘致であったでしょうが、現状難しいことですので、これといった特効薬的なことは見当たらないのが現状だと思います。私も、家庭や地区といった小さな単位で創意工夫して特色のある町つくりを推進することが肝心だと考えます。

向　江　行政サービスの向上と、市民が主体的に係わる仕組みを構築することが大切です。小さい生活圏に分けて、医療・教育といったキーワードに基づいて取り組んで行くことで、市民生活をレベルアップ出来ると思います。

辻　中　今の泉佐野市は、関空都市のイメージが先走り過ぎて、現実の財政難とがアンバランスな状態になっています。壮大な計画よりも、まずは子育て環境といった市民（家庭）単位での改善から始めていく必要があるでしょう。

ＩＭＫ　任期中に実現出来る（或いはしてみたい）政策を挙げて下さい。

野　口　差別・人権問題に関して、特に障害者の雇用促進へ力を入れたいと思っています。

新　田　地元の公立中学校の良さを理解してもらうこと、その為の勉強できる環境整備を実現出来るよう努力たいと考えています。静かに授業ができて、友達と仲良くいろんな話をしながら通学する楽しさを子供の時代に経験できることの大切さを知ってもらいたい。

高　道　社会保障（健康保険、介護など）の受益者が十分サービスを享受できるようにすることや、保険料の市独自減免の拡充を実現したいです。又、保険料原資の無駄使いをなくす予算配分計画を作りたいです。

向　江　市民の眼を、もっと市政に向けさせたいことです。　財政困難な市政であっても、市民が無関心であれば、行政側は何から手を付けて良いか、よくわかりません。欧米では、政党が大衆パブなどを借り切って、市民を交えてパーティーを行い、歌ったり踊ったりしながら、市政を語り合うようなことを行っています。そのため、市民一人一人が政治意識を持つことが出来るのだと思います。

辻　中　教育環境を変えて見たいのが私の実現目標です。先生が、ＰＴＡから非難されたりして、昔のような威厳がまるで無くなっている、児童・生徒を指導できないのはこの辺りに原因原因があるように感じます。

ＩＭＫ　５人の新人議員の皆さんには、これまでない新しい発想で、是非とも泉佐野市をリフレッシュしてもらいたく思います。

泉州ルネッサンス　読者の投稿・ＰＲ広告　申込は、
０７２－４６４－０４３２　森本迄

電動自転車祭り！

Crank鶴原サイクル
泉佐野市鶴原１９６４
ＴＥＬ　４６４－０４３２
ＦＡＸ　４６４－５１１３
http://www.rinku.zaq.ne.jp/

電動自転車は
当店へご相談
下さい！
★展示台数★

お米のかぃた
あなたのお口に合うお米をご用意します！
玄米、３・５・７分づき米、あいがも農法米
減農薬米、産地契約栽培米。　☆無料配達☆
泉佐野市鶴原970-4　**ＴＥＬ４６２－０２８６**

喫茶・軽食　花　車
泉佐野駅前東名店街トクヤビル２Ｆ
広い室内・高級ソファーでゆったり！　定食もあります！
美味コーヒーゼリーもいかがですか！
泉佐野市上町3-8-25　ＴＥＬ　４６９－５９３０

KySky（ケイワイスカイ）
オリジナルＴシャツ・マグカップその他、布モノ
加工・雑貨いろいろ、ご要望に合わせて制作します。
泉南市樽井7-19-14　ＴＥＬ　４８４－８１９０
http://www.kysky.info/

こーたり～な 高田店長に聞く ＜前編＞

泉佐野市松風台にある、地元野菜販売施設「こーたり～な」は、連日新鮮な野菜を求めるお客さんで賑わっています。昨年１０月２２日に同店の高田店長に、人気の秘訣や店舗コンセプトについて、おうかがいました。

Ｑ　設立の目的は何ですか。
Ａ　こーたり～なは、ＪＡ大阪泉州が運営していますが、元々市内の農業自給率アップを目的として設立しました。少量でも出荷できるシステムをとっていますから、引退した農家などにも再び遊休田を活用してもらい、地産地消の推進と地域農業の活性化を目指しています。本施設は国の補助事業となっています。

Ｑ　どのような商品が販売されていますか。
Ａ　基本は地元産の野菜ですが、一部の果物などはＪＡより仕入れています。但し、バナナなどの外国産農産物は置いておりません。

Ｑ　名称の意味はどのようなことですか。
Ａ　正式名は、「ＲｉＺｕＭｉＥ（リズミー）こーたり～な」です。リズミーは、ＲとＥの間にＩＺＵＭＩの字があって、ＲＥ（再び）の語彙から、何度も来たくなる泉州を表現しています。マスコットである、「こーた」君と「り～な」ちゃんは、それぞれ漢字で書くと、「幸多」「利菜」ですから、野菜で幸せいっぱいを願って命名されています。また、別の意味で　こーたりや！（買ってあげてください）（泉州弁っぽい）から由来するものでもあります。
ネーミングは、当初は一般公募で行いましたものの、良い名前がみつからなかった為に、専門家が付け、同名を商標登録しています。

Ｑ　どの位の農家と契約していますか。
Ａ　オープン当初の会員数は、１２０名ほどでしたが、売上が好調なこともあって、現在では５８９名まで増えました。会員さんには、１つづつ袋へ封入してもらって、自分で品目売価のシールを貼ってもらっています。そして当日売れ残り分は全て引き取ってもらうことを了承してもらっています。

Ｑ　売上・来客数について教えて下さい。
Ａ　１日平均売上は、約３００万円、そして来客数は約１８００人です。売上品目は、野菜・米（地元産「きぬひかり」、他の地域産米）・惣菜（店舗内にある調理場「味きっちん」）・手作り品があります。

Ｑ　お客さんはどこから来られますか。
Ａ　２００５年のアンケート時では、泉佐野市４２％、熊取町２０％、貝塚市９％、泉南市９％という結果でした。週末には他府県から来られるお客さんも多いです。

Ｑ　人気の秘訣は何ですか。
Ａ　３年前の台風時に野菜が高騰した時でも、こーたり～なでは値段を上げずに販売したことで、人気が広まりました。また、こういう形での取材やマスコミに取り上げられたりした事もあり、認知度が高まったと思いますが、やはりお客さんの口コミによるものが一番多いと感じております。　－次号へ続く－

靖国神社参拝問題　４

北朝鮮の核実験騒動・安部新総理の誕生で、靖国神社参拝問題はその影に隠れてしまったが、６カ国協議の進展の度合いになり、春秋の例祭の際には、恐らく中国の胡錦涛国家主席や韓国の盧武鉉大統領によって、Ａ級戦犯合祀の靖国神社参拝問題が蒸し返される事が想像できる。中国は覇権主義達成の為に、韓国は内政失敗を韓国国民の眼から逸らす為に、過去の歴史を掲げて日本の首相の靖国神社参拝に問題を絞ってくるであろう。

振り返って見れば、中国の覇権主義は、かつての日本が大日本帝国と称していた時の『日本が中心となった大東亜共栄圏』を言っていた事の踏襲のようなスタイルではある。

中国が台頭してきて、日本と肩を並べる経済大国に成りつつある今日、種々摩擦が生じるのは当然の理ではある。　－次号へ続く－　（蔭山　市郎）

※参考文献　「文芸春秋２００６年９月号」

ＩＭＫのホームページもご覧下さい！
ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ．ｒｉｎｋｕ．ｚａｑ．ｎｅ．Ｊｐ／ｂｋａａｒ４００／ｉｍｋ

泉佐野市政モニター研究会 IMK

〒５９８－００６３　大阪府泉佐野市湊１－５－３８　蔭山　市郎　方
電話・ＦＡＸ　０７２－４６１－３３５７
Ｅ－ｍａｉｌアドレス　ｂｋａａｒ４００@ｒｉｎｋｕ．ｚａｑ．ｎｅ．ｊｐ

例会：毎月第４日曜日　午後１時半～午後４時半　佐野公民館で開催しています。
泉州ルネッサンスに関するご意見・ご感想をお聞かせください。